

医薬事業戦略

2025年5月20日

常務取締役 医薬事業部長

西田 健一

本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

2

医薬品生産体制についての取り組み状況

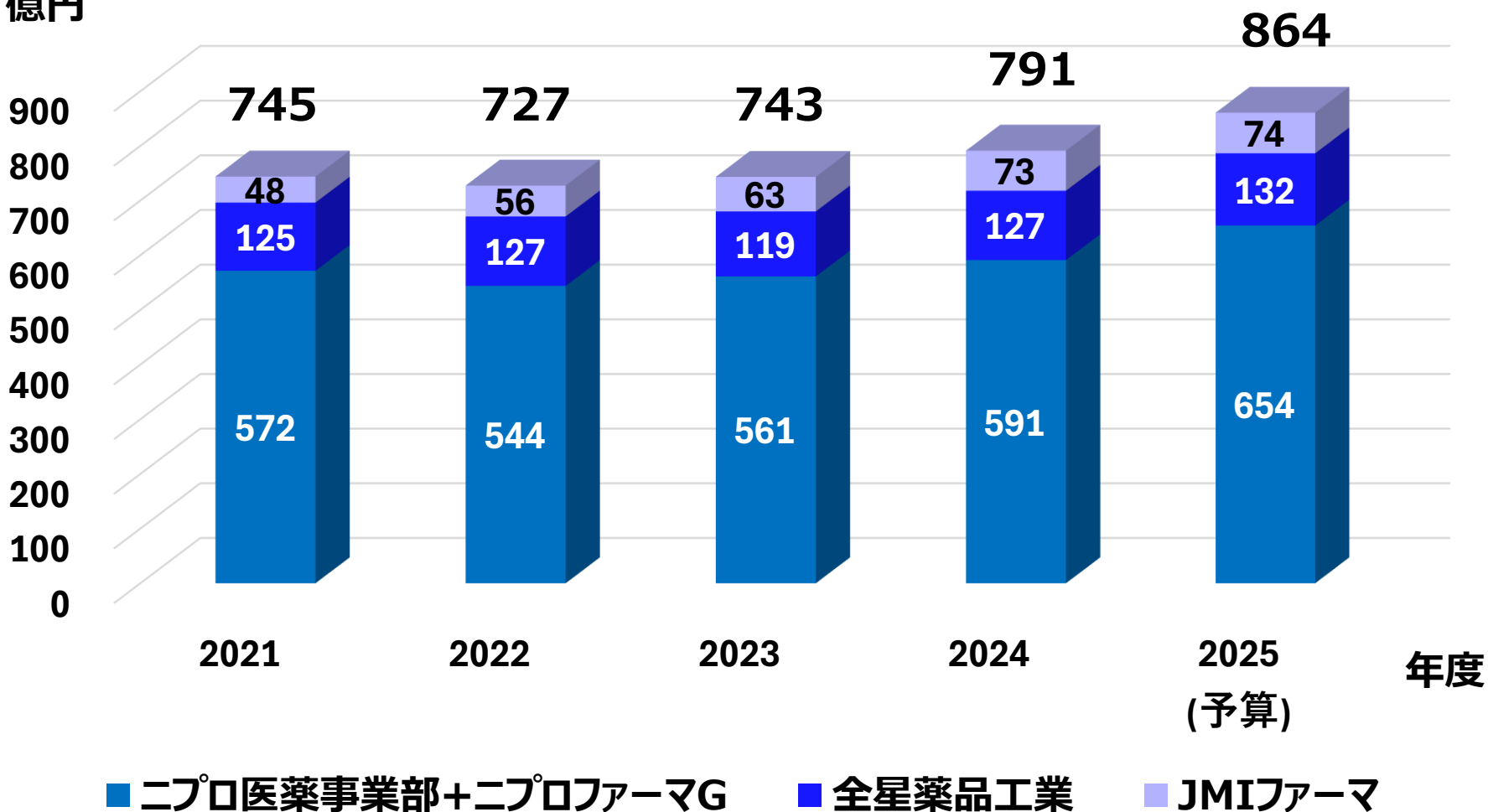
医薬事業部門 損益（2024年度実績）

単位：百万円

	ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	全星薬品工業	ニプロJMIファーマ	合計	前年	予算
外部売上高	59,118	12,679	7,329	79,126	74,320	81,250
対前年	105.3%	106.6%	116.2%	106.5%		
対予算	96.5%	98.0%	110.7%	97.4%		
売上総利益	15,437	4,408	4,844	24,689	15,633	22,860
対前年	207.6%	109.5%	116.1%	157.9%		
対予算	114.4%	95.8%	112.1%	108.0%		
販管費	7,850	2,150	4,063	14,063	11,200	13,830
対前年	146.3%	95.1%	113.7%	125.6%		
対予算	106.8%	84.2%	111.2%	101.7%		
営業利益	7,588	2,257	780	10,625	4,433	9,030
対前年	366.6%	127.9%	130.4%	239.7%		
対予算	123.7%	110.1%	117.3%	117.7%		

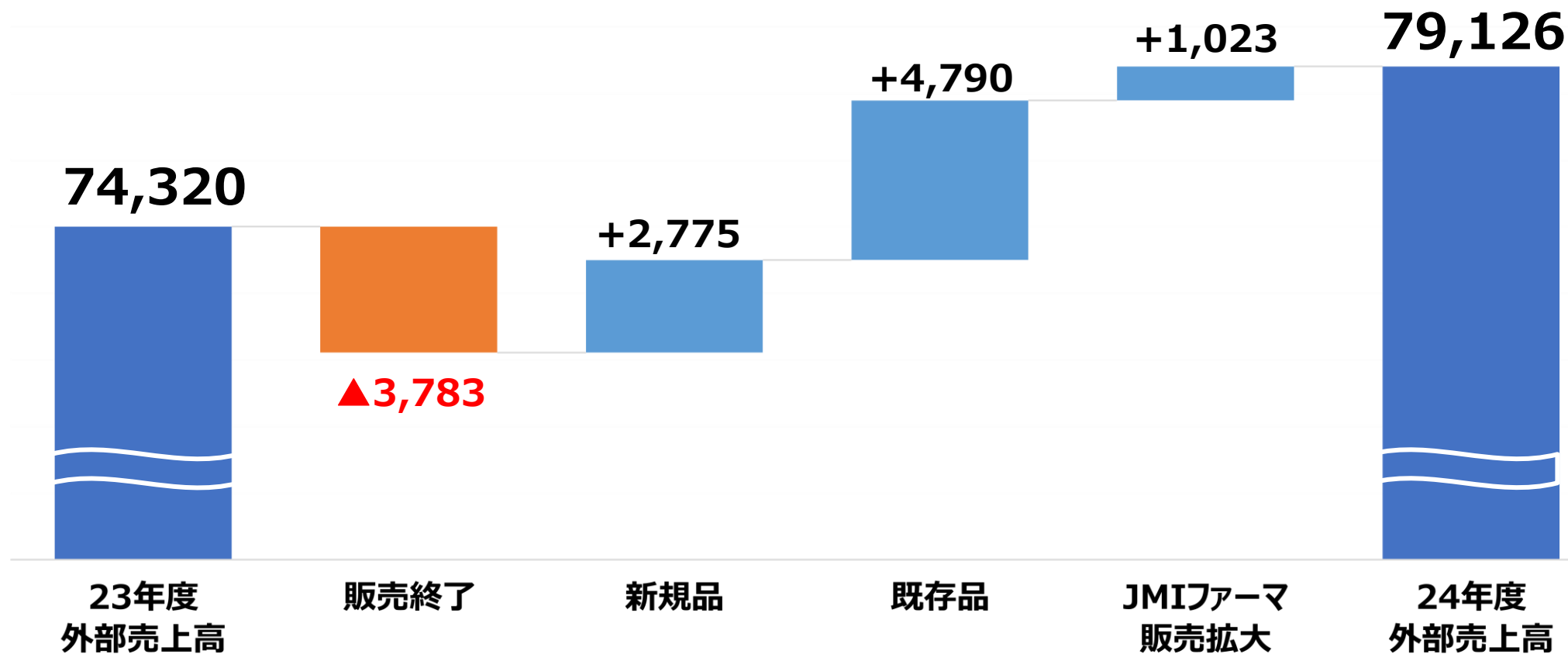
医薬事業各部門 売上推移

単位：億円



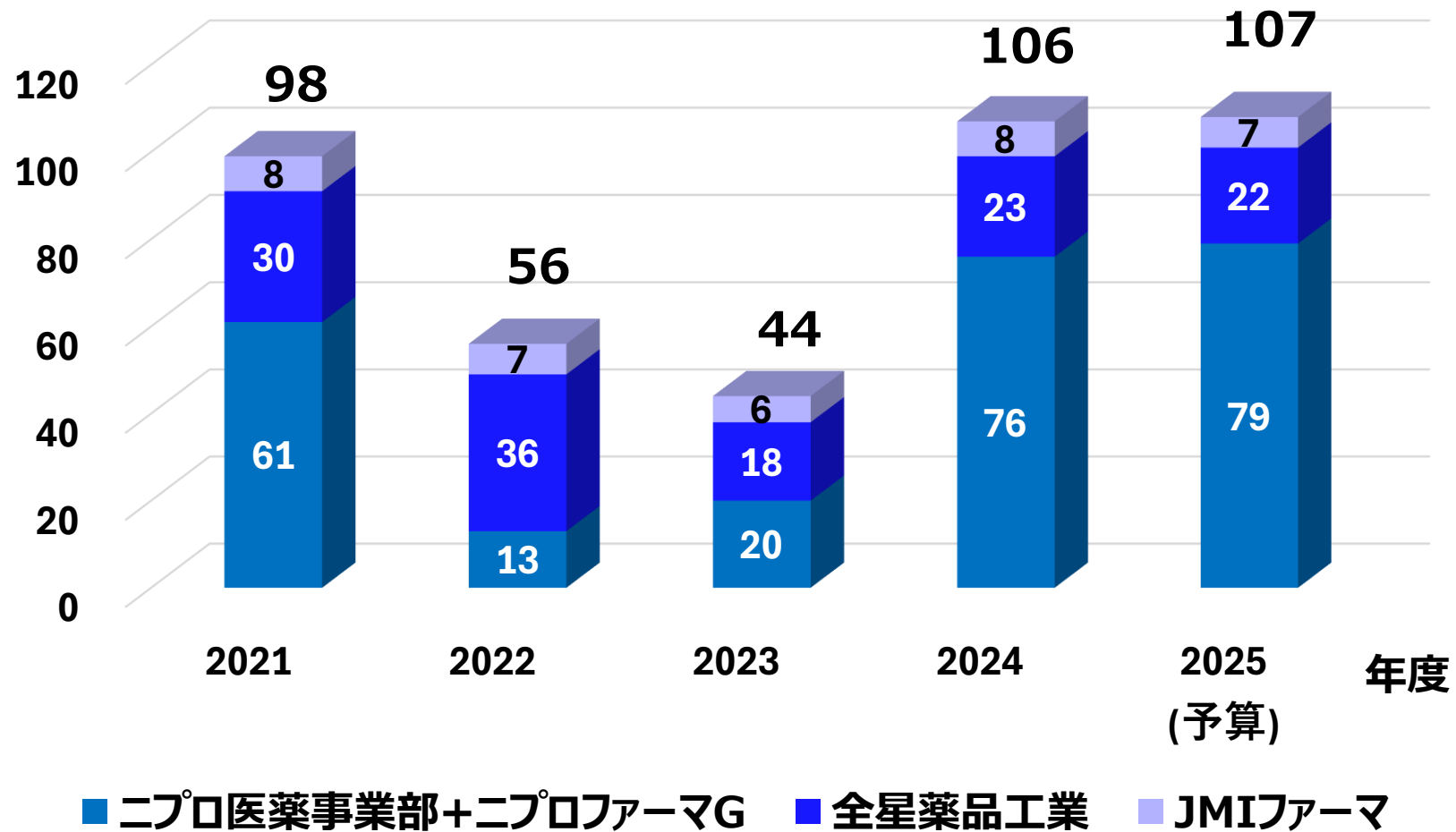
外部売上高の増減要因(対前年)

単位：百万円



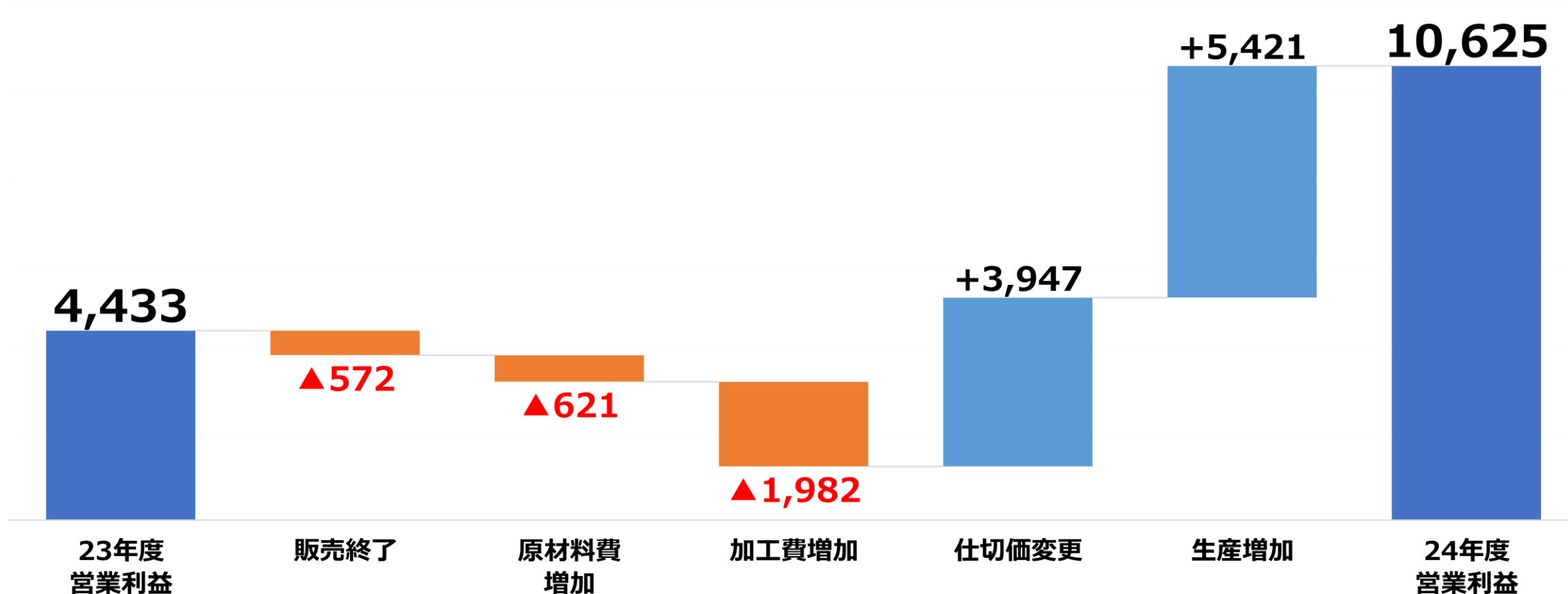
医薬事業各部門 営業利益推移

単位：億円



営業利益の増減要因(対前年)

単位：百万円



医薬事業部門 2025年度予算

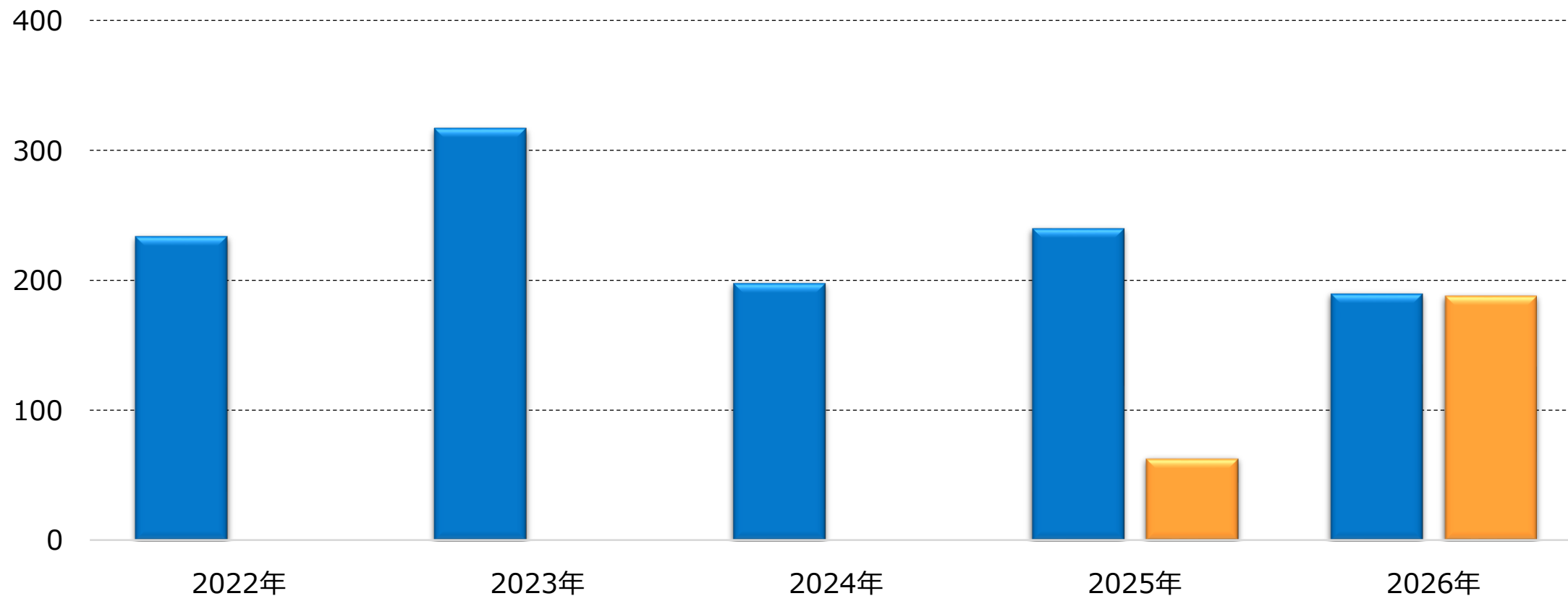
単位：百万円

	ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	全星薬品工業	ニプロJMIファーマ	合計	2024年度
外部売上高	65,441	13,195	7,426	86,373	79,126
対前年	110.7%	104.1%	116.2%	109.2%	
売上総利益	14,835	4,960	4,796	24,591	24,689
対前年	96.1%	112.5%	99.0%	99.6%	
販管費	6,923	2,760	4,120	13,802	14,063
対前年	88.2%	128.4%	101.4%	98.1%	
営業利益	7,912	2,200	676	10,789	10,625
対前年	104.3%	97.5%	86.7	101.5%	

医薬事業部 投資金額と補助金受領の推移

(億円)

■ 投資額 ■ 補助金受領額



本日の発表内容

1

医薬事業実績報告

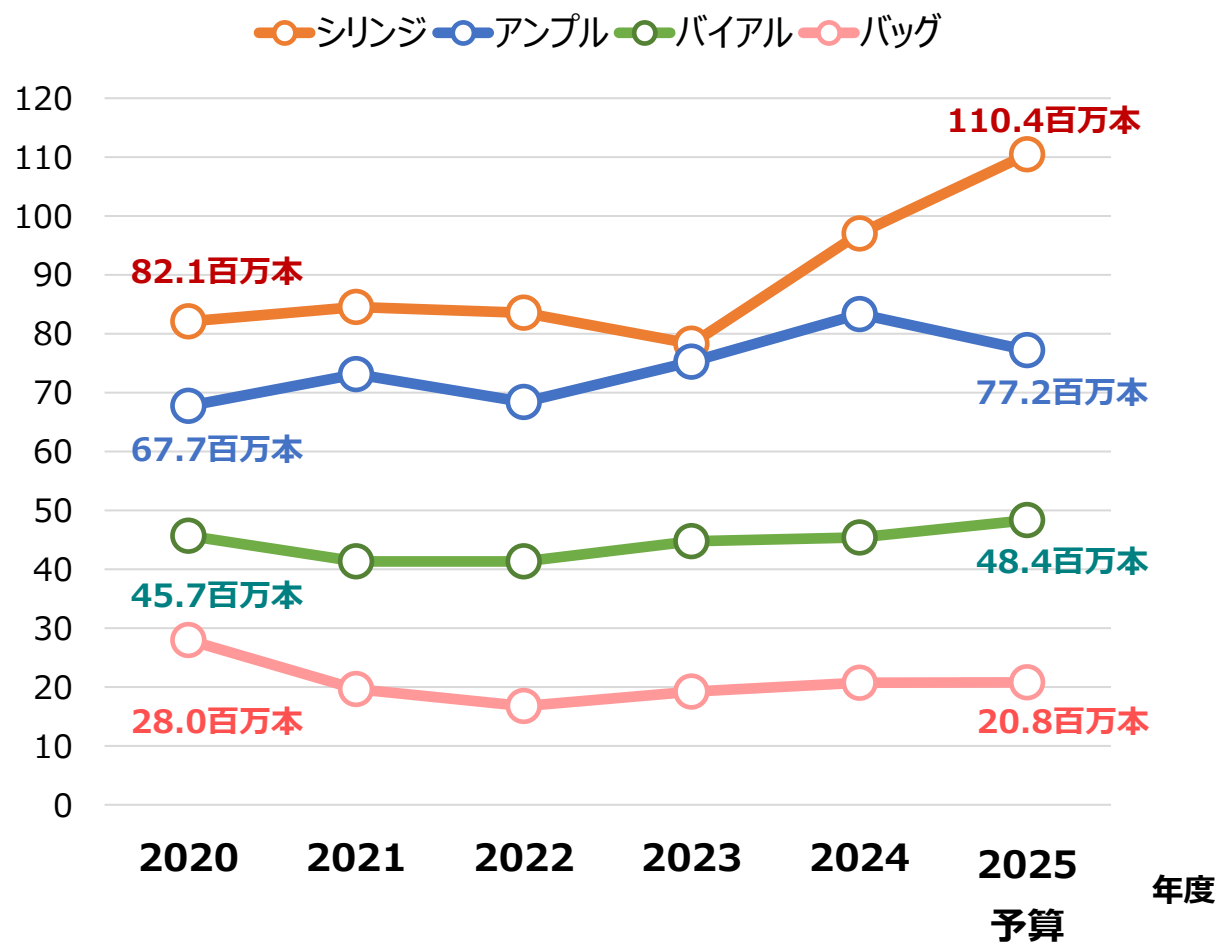
2

医薬品生産体制についての取り組み状況

ニプログループの出荷数量の推移

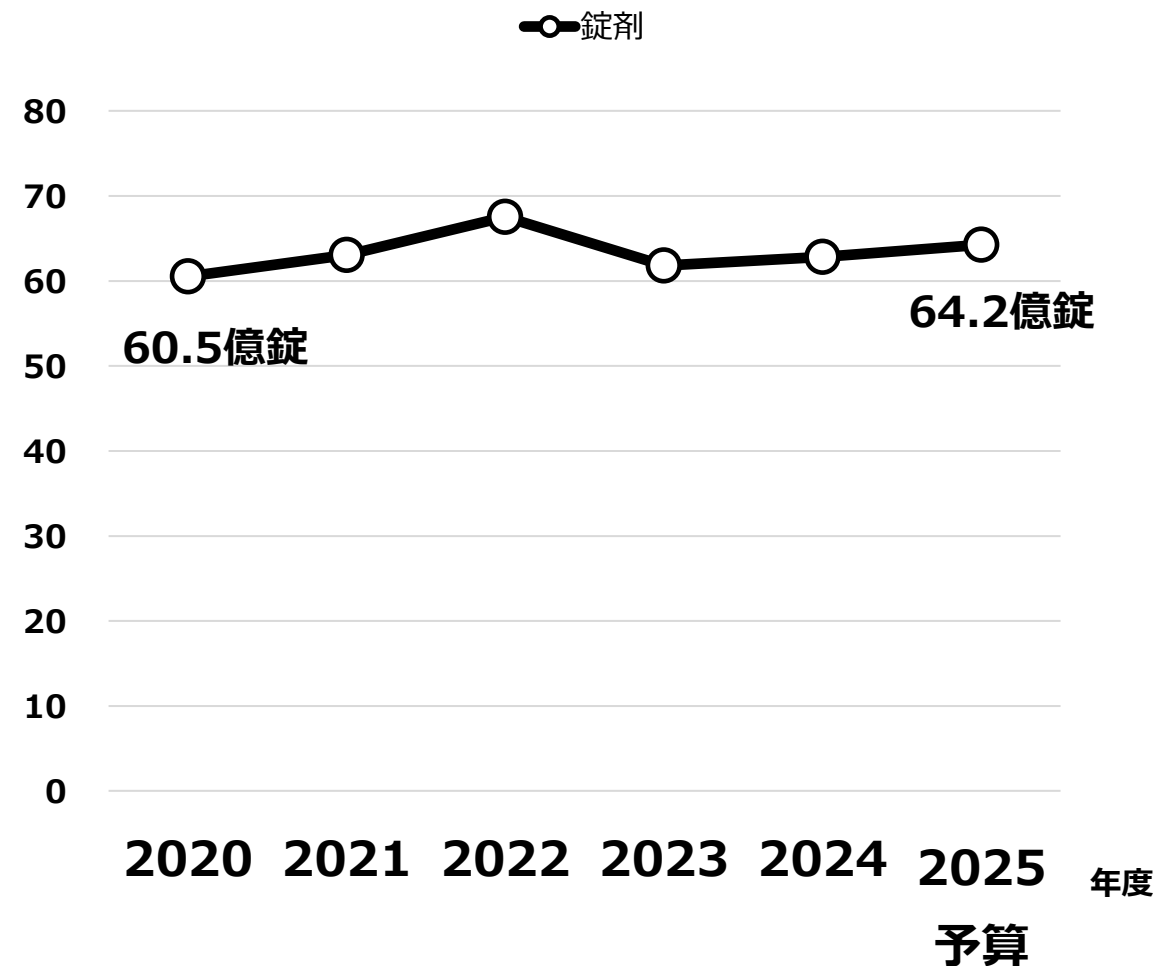
注射剤

単位：百万本



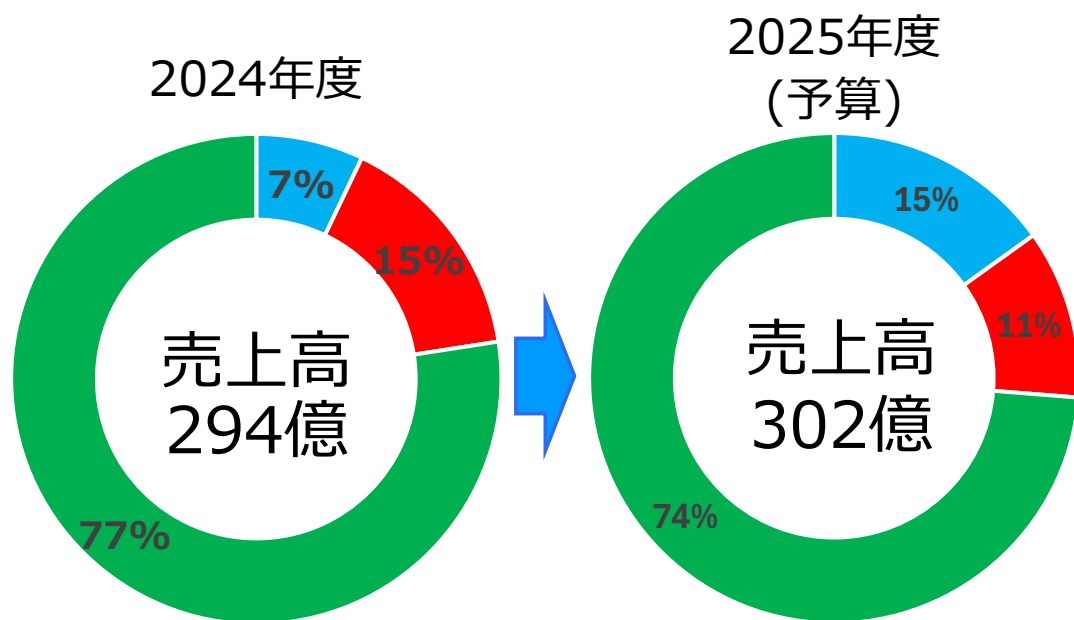
経口剤

単位：億錠

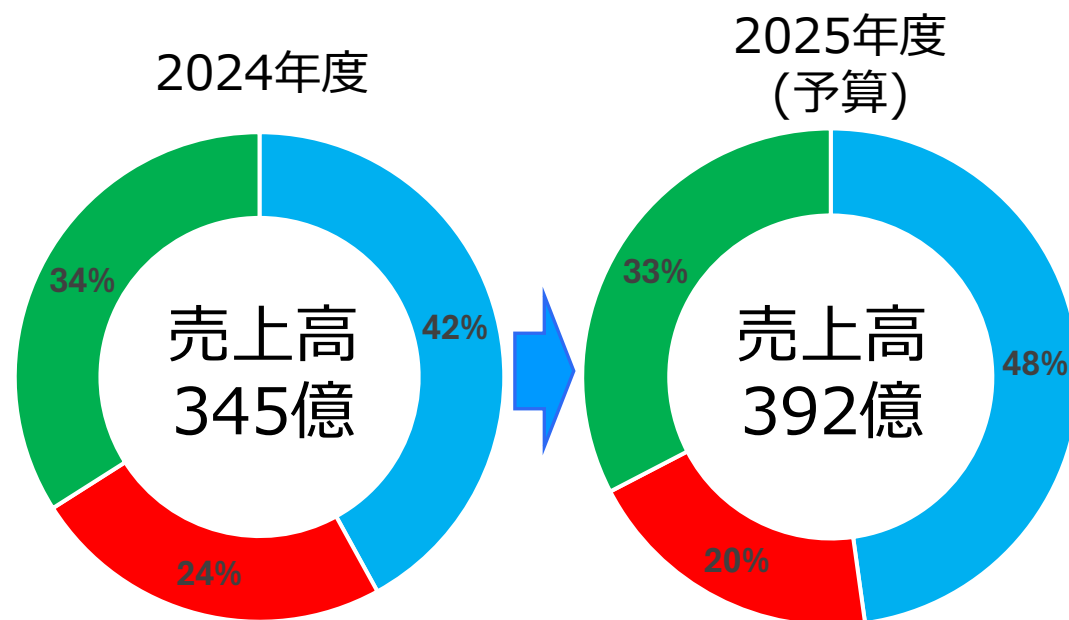


製造受託品目 分類別シェア

経口剤 外部売上高



注射剤 外部売上高



■ 先発 ■ 長期収載 ■ 後発品

ニプロファーマ株式会社



大館工場

増大する需要への対応として、
シリンジ、バイアル等の数品目で
ロットサイズアップ等の対策を実施中。
今年度は、数百万本の増産を計画。



鏡石工場

2021、2022年の地震を踏まえ、BCPの
取り組みを推進中。
今後は、第2固形剤棟での増産を検討。



伊勢工場

シリンジ（約1,000万本）、
バイアル（50～100万本）の需要増に
対する増産体制を確立。

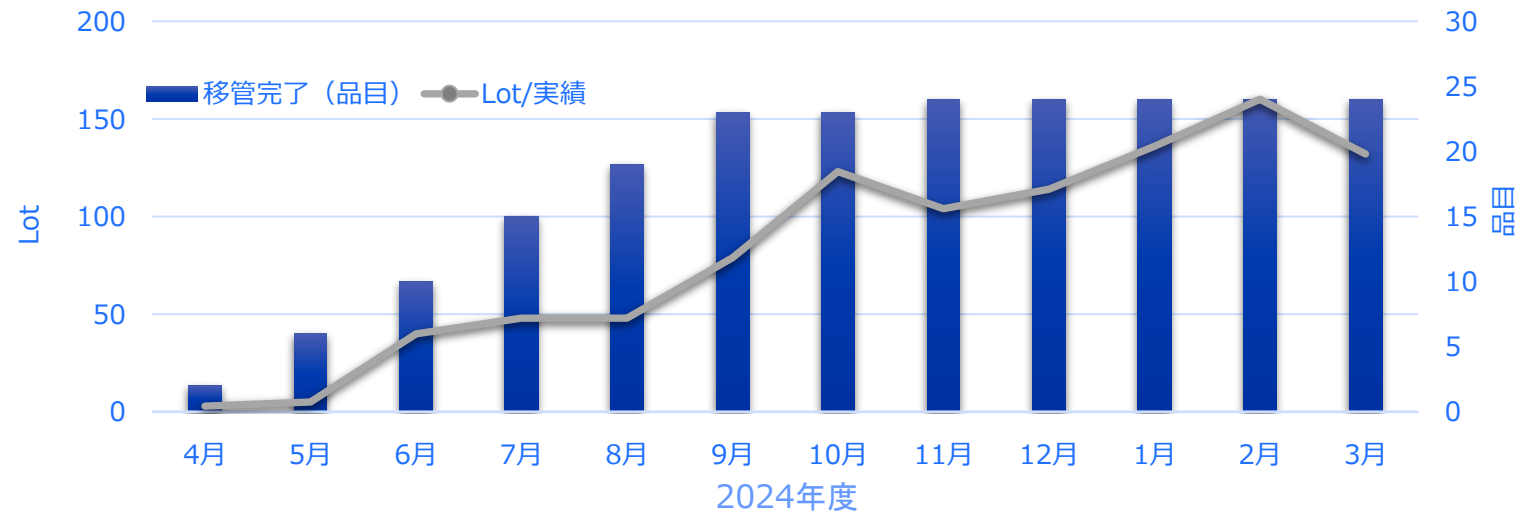


埼玉工場

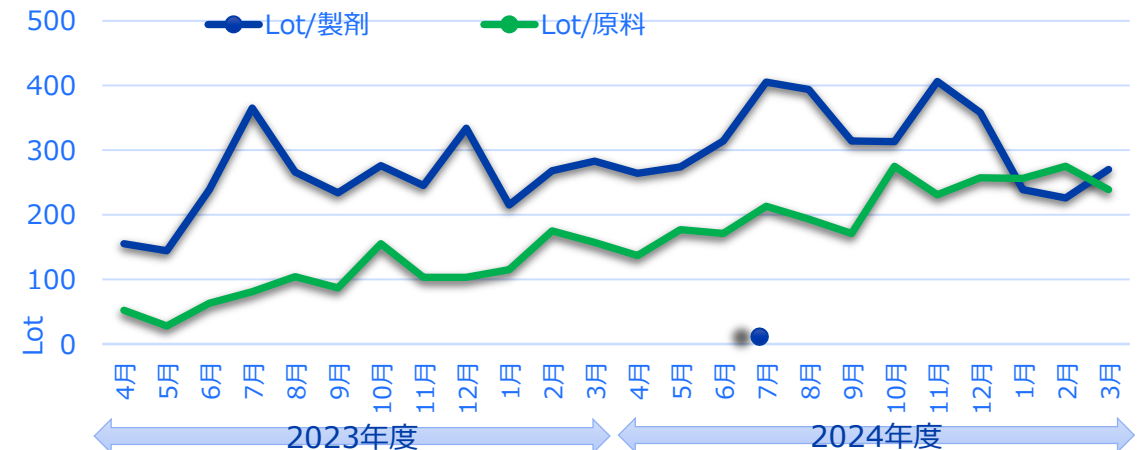
先発メーカーからの複数新規受託品の
技術移転を実施中。

品質管理試験拠点の本格始動

道修町分析センターは順調に試験実績数を伸ばしQC本部全体の試験能力向上に貢献

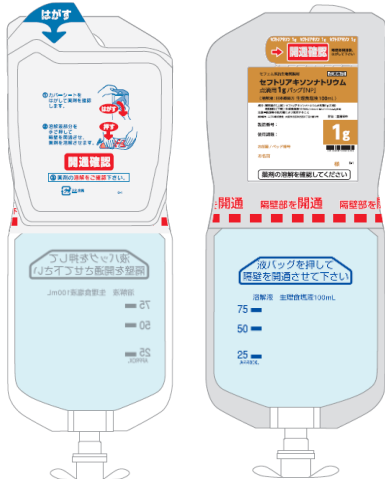
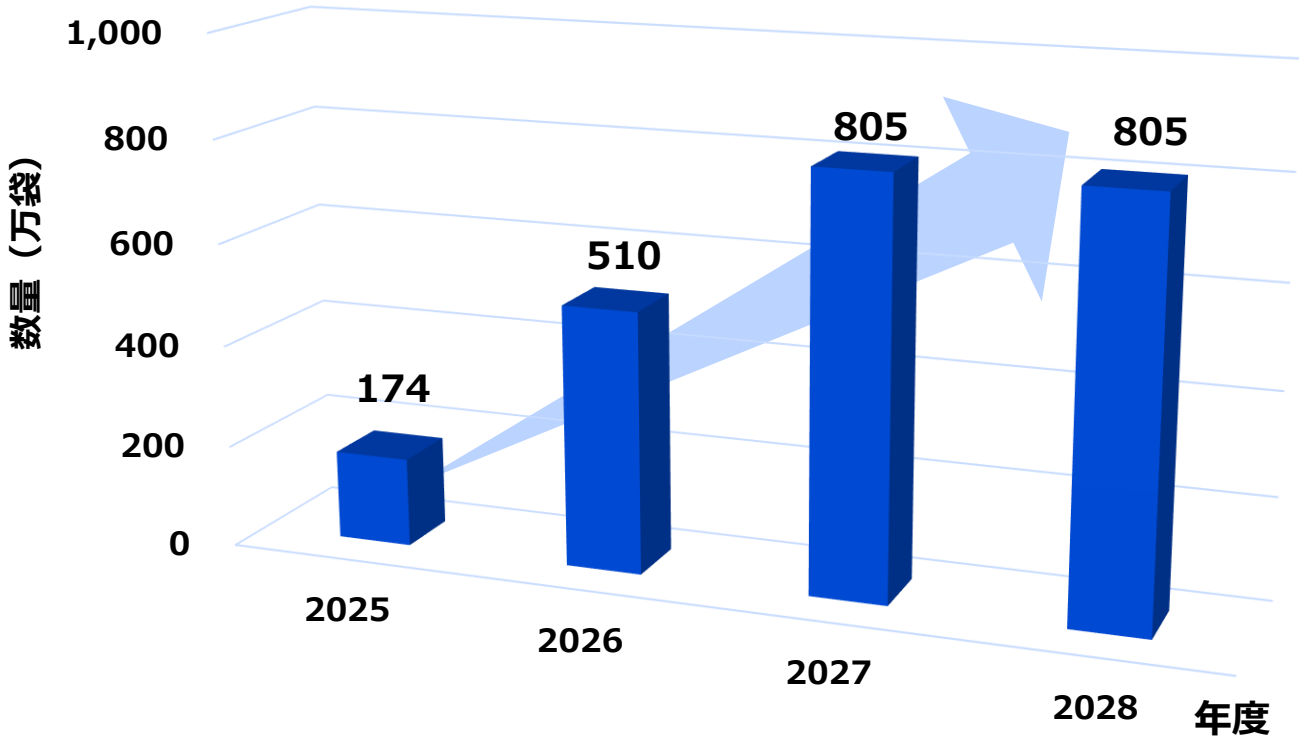


埼玉MF棟へ 製品試験および原薬試験の試験技術移管を推進することで、他工場の負担軽減を図る



近江工場 PLDB製造ライン新設

ニプロファーマ近江工場 PLDB棟



セフェム系①	1,736,000	2,320,000	2,320,000	2,320,000
セフェム系②		2,030,000	2,030,000	2,030,000
セフェム系③		750,000	1,500,000	1,500,000
セフェム系④			2,200,000	2,200,000
生産数量合計	1,736,000	5,100,000	8,050,000	8,050,000

近江工場 Vial製造ライン新設



バイアル製剤ライン

液バイアル、凍結乾燥バイアルの合計

約4,000万本/年（理論数量：4,700万本）の生産能力

※「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等 整備事業」に採択

2025年 9月 管理厚生QC棟 仮使用開始予定

2025年 11月 設備搬入完了予定

2026年 2月 建築検収完了予定

2027年度より国内向けに、2028年度より海外向けに出荷開始予定

志紀工場 アンプル製造能力増強

アンプルの生産数量は年々増加。

今後の数量増加に対応するため、志紀工場のアンプル設備を増強（更新による生産能力の拡大と包装設備の追加）。

2026年以降に約700万本の追加生産能力



'26年2月

●
設備搬入

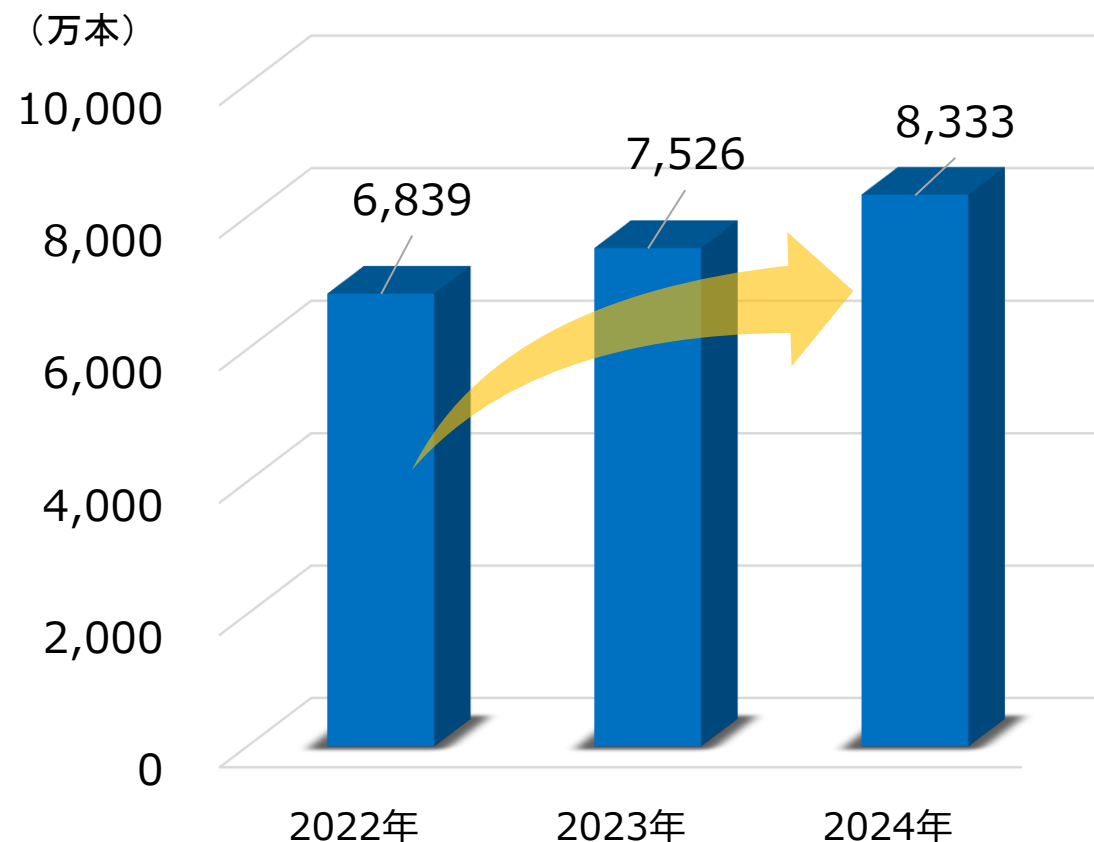
'26年5月

●
IOQ

'26年8月

●
生産開始

ニプロファーマ全体のアンプル生産数量



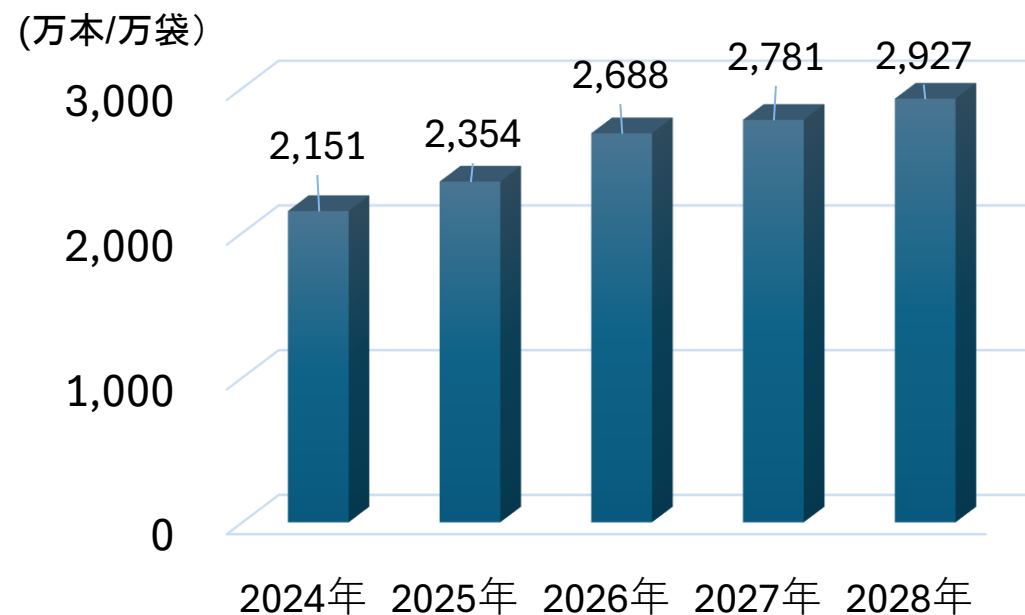
ベトナム工場 ペニシリン棟稼働開始

ニプロファーマベトナム工場



2025年度に約120万本のペニシリン系バイアルの出荷開始。
2026年度以降増加し、約500万本を出荷する計画。

NPPベトナム工場の生産数量推移



全星薬品工業株式会社

全星薬品工業では、積極的に新規受託製造品並びに新規ジェネリック開発品の追加生産を図っております。

2025年度新規品目

3品目：約6,000万錠

2026年度新規品目

2品目：約5,000万錠 ※開発中品目含む

2027年度新規品目

4品目：約5億錠 ※交渉中、開発中品目含む

生産数量の推移

理論限界値：45億錠

※製造トラブルを加味しない生産量



和泉工場



岸和田工場

工場別生産数量の推移

単位：億錠

